

# 総合大雄会病院 産科 Daiyukai Women's Health ママと赤ちゃんの健康のお話

## 第1回

赤ちゃんを想う  
気持ちに寄り添う



## 出生前診断 専門外来

### 大雄会の「出生前診断専門外来」について

妊娠中「お腹の赤ちゃんは元気に育っているだろうか」「何か問題はないだろうか」と不安を感じる方は少なくありません。出生前診断専門外来はそんなご両親の思いに寄り添い、出産前に赤ちゃんの状態を詳しく知るための検査を行う外来です。大雄会ではこれまでに1,000件を超える出生前検査を実施しております。また専任の遺伝カウンセラーが在籍しているため、検査の内容や結果について専門的な視点から丁寧にご説明し、ご家族の不安や疑問に向き合う体制を整えています。

### 2つの検査で赤ちゃんを多角的に確認

#### 1 胎児超音波スクリーニング検査

通常の妊婦健診よりも時間をかけ、超音波を使って赤ちゃんの全身を詳しく観察します。発育の様子や、心臓・脳・内臓などの形に異常がないかを確認する検査です。赤ちゃんに生まれつきの病気がある確率は、全体で約3%といわれています。そのすべてが妊娠中に分かるわけではありませんが、出生後に治療が必要となる病気については、約50~70%を見つけることができるとされています。もし異常が疑われた場合には、出産後に適切な医療が受けられる専門医療機関をご紹介しますこともあります。

▶実際の検査画像



大雄会の出生前診断専門外来では  
2種類の検査を行っています

#### 2 NIPT (母体血胎児染色体検査)

NIPTは、妊婦さんの血液を採取するだけで行える検査です。血液中に含まれる情報から、赤ちゃんが染色体の変化を持つ可能性を従来より高い精度で調べることができます。羊水検査などと比べお母さんの体への負担が少ないのも特徴です。大雄会のNIPTは、13トリソミー (パトウ症候群)、18トリソミー (エドワーズ症候群)、21トリソミー (ダウン症候群) が対象疾患となります。検査時期は妊娠10週~15週頃で、年齢制限はありません。

※この検査に関わる受診はすべて自費診療です。  
費用、予約方法、診察時間など詳細はホームページをご確認ください。

### 不安を減らし、 安心して出産を迎えるために—

出生前検査は、すべての病気が分かるわけではありません。しかし赤ちゃんの状態を事前に知ることで心の準備ができたり、出産後の医療体制を整えたりすることが可能になります。私たちは検査そのものだけでなく、ご家族の気持ちに寄り添うことを大切にしています。少しでも不安を軽くし、安心して新しい命を迎えていただけるよう、これからも丁寧な診療を心がけてまいります。

監修



出生前診断部診療部長

みなみたに とも ゆき

南谷 智之 医師

(主な資格)

・日本専門医機構認定 産婦人科専門医

